

5月28日

菅原幸治さん 100歳  
(衣川古戸)

百寿



胆沢で生まれ、海軍からの復員後、27歳で幸子さん(左)と結婚。子ども1人、孫3人、ひ孫2人に恵まれています。長寿の秘訣は、慌てず急がないこと。贈呈式では幸子さん(左)と手をつなぎ笑顔で記念撮影。長男の至孝さんは「父の兄が103歳まで生きたので、父には頑張ってもっと長生きしてほしい」と話しました。

5月10日

高橋ツル子さん 100歳  
(衣川中河内)

百寿



衣川で生まれ、18歳で故・吉男さんと結婚。4男2女をもうけ、孫10人、ひ孫13人、やしやご6人に恵まれています。長寿の秘訣は、なんでもおいしく食べること、寒い日も散歩を欠かさないこと。最近ひ孫ややしやごと話するのが楽しみというツル子さん。贈呈式では家族に囲まれ笑顔を見せていました。

5月5日

高橋ヤスさん 100歳  
(水沢秋葉町)

百寿



水沢で千田家の三女として生まれ、故・丑太郎さんと結婚。娘1人、孫4人、ひ孫7人に恵まれています。長寿の秘訣は、なんでも食べて適度に体を動かすこと。昔から料理や洋裁が得意で愛情深かったというヤスさんに、娘の薫さんは「これからも穏やかに過ごしてほしい」と笑顔で話しました。

### We support the 希望の ひかり 国際リニアコ ライダー(ILC) 計画の各種最新情 報をお届けします

第79回

#### ロードマップも策定期間

ILC計画が審査対象とされている、文部科学省の「大型プロジェクトに関するロードマップ」は、夏ごろに公表される予定でしたが、これも9月以降の策定・公表に延期されました。

#### 東北ILC推進協議会が総会を開催

5月20日、東北ILC推進協議会が本年度の総会を開催し、日本政府や米欧に対し「ILC建設に向けた準備段階へ進む意思表示を行うこと」「ILC準備研究所を設置し、必要な準備作業に取り組みむこと」などを求める決議が採択されました。

構(KEK)をホストとする『国際推進チーム』設立準備の動きなどに、東北も呼応する必要がある」と結束を呼び掛けました。政府・米欧への決議採択のほか、平成28年6月に同協議会の内部組織として設置された東北ILC準備室(室長・鈴木厚人岩手県立大学長)が準備検討に関わる目的を達成したとして、今年度中に同室を廃止することなどが議決されました。これを受け、岩手県などの関係機関は、地元として受け入れ態勢を強化することを目的とした、新組織の設立の準備を進めています。構成メンバーは岩手県や宮城県、建設候補地周辺の自治体、研究者などが想定されています。

#### ※東北ILC準備室

「東北におけるILC準備状況」を取りまとめ、超党派のILC国会議員連盟(河村建夫会長)に提出するなど、北上山地へのILC受け入れに関する準備、検討を進める活動をしてきた。

#### 欧州戦略は策定期間

巨額の経費を要する国際プロジェクトであるILC計画は、国内外の幅広い協力が必須です。日本政府は、ILCの誘致を判断するため、特に次期欧州素粒子物理戦略(以下「次期戦略」)における議論の進捗を注視してきま

た。この次期戦略が5月25日に策定される予定でしたが、欧州合同原子核研究所(CERN)は「新型コロナウイルス感染症が拡大するか、次期戦略を公開する適切な時期ではない」とし、あらためて今後の方針を議論することとしました。

この次期戦略が5月25日に策定される予定でしたが、欧州合同原子核研究所(CERN)は「新型コロナウイルス感染症が拡大するか、次期戦略を公開する適切な時期ではない」とし、あらためて今後の方針を議論することとしました。「高エネルギー加速器研究機

新コーナー「医療局だより」は、市立病院・診療所の医師が交替で、医療や健康の話題をお届けします。掲載は不定期です。

## 地域に寄り添う市立病院・診療所 医療局だより

### 社会の変化に合わせた歯科医療

衣川歯科診療所 所長 佐々木 健 先生



最近、テレビやインターネットで、歯科医療の重要性が記事になっているのを見かけます。例えば「歯周病を放置すると心筋梗塞や脳梗塞の発症リスクが増加する」「口腔ケアは誤嚥性肺炎の予防につながる」といった内容です。一昔前は歯を削って詰めるといった形態回復に特化した治療だけだった歯科医療ですが、急激に変わっていく社会状況の中で、私たち歯科医師に対する要求も多様化してきており、それに対応する責務も高まっているように感じます。

衣川地域では住民の歯科に対する関心が非常に高く、なかでも高齢者のみなさんは歯科の知識が豊富です。通院される患者さんの2.7人に1人は75歳以

上という当診療所ですが、多くの人が月に1回もしくは2カ月に1回、歯の定期管理に通われています。今のところほとんどの人は患者バスや自家用車で来院されていますが、心配なのは今後足腰が悪くなって通院できなくなったときに、どのように口の管理をしていくかということです。現在でも依頼があれば往診を行っていますが、診療時間後に向かうことがほとんどで、これから増えるであろう在宅でのニーズに対応できていない状況です。今はまだ構想段階ですが、ゆくゆくは診療日の半日を往診専門に割り当てる(例えば水曜日の午後は往診専門)などして、在宅でも定期的な口腔ケア、歯の定期管理が行えるような体制を整えていこうと考えています。

■問い合わせ＝医療局経営管理課 (☎ 25-3833、✉ keieikanri@city.oshu.iwate.jp)



初夏の風が爽やかな季節となりましたが、いかがお過ごしですか。

新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が、全国で解除となりました。しかしながら、感染リスクがなくなったわけではありません。市民の皆さんには、これまでどおり予防対策を徹底していただくようお願いいたします。

先月も、多くの企業・団体、また個人の皆さんより、マスク、消毒液、フェイスマスクなど、新型コロナウイルス感染症対策に関する寄付をいただきました。あらためてご厚意に感謝いたします。医療・介護の施設や、小中学校など教育活動の現場で有効に利用いたします。

心字の街創造実行委員会より、日高火防祭のはやし屋台

修繕に役立ててほしいと寄付をいただきました。同会は平成21年に発足し、水沢の中心部に町印のモニメントを設置する活動などに取り組みました。残念ながら今回解散することとなりましたが、中心市街地の魅力向上や、まちづくりへの気運の醸成に大いに貢献いただきました。ありがとうございました。

名古屋市内の病院長である伊藤全哉さんからの423万円をはじめ、多くの皆さんからの寄付により、ふるさと納税の寄贈型返礼品「熱中症注意目安付き温湿度計」を、市内の全小中学校に配置しました。市の未来を担う子どもたちの学びの場の環境づくりに活用いたします。

新型コロナウイルス感染症の終息、また、早期に市民生活が平常に戻るよう、市として、感染拡大の防止と、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援に全力で取り組んでまいります。ご協力をよろしくお願いたします。

奥州市長 小沢昌記

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽にご質問ください。お問い合わせ＝本庁「市民生活課」(☎ 25-3833、✉ keieikanri@city.oshu.iwate.jp)